

## 6.8 太陽光発電マッピング構築に向けたロードマップの検討

太陽光発電マッピングシステム構築にあたっては、システム構築、データ整備、導入促進機能の構築に各種課題があることがわかった。特に導入促進機能の構築にあたっては、地域関係者において太陽光マッピングシステムを構築する意義や役割、進め方等を検討し、関係者で共通理解を得たコンソーシアムの形成が重要であり、そのためには十分な時間をもち議論を重ねていくことが必要である。これらを背景として検討した太陽光マッピングシステム構築に向けたロードマップ（例）を図 6.8-1 に示す。地域におけるコンソーシアムの形成や全体計画の作成、それと同時並行でシステム仕様やデータ整備の要件等の検討を進めていく流れが考えられる。コンソーシアムの構築には地域の連携や合意形成に多くの時間がかかることからそれらを支援する枠組みや取組みが重要となる。

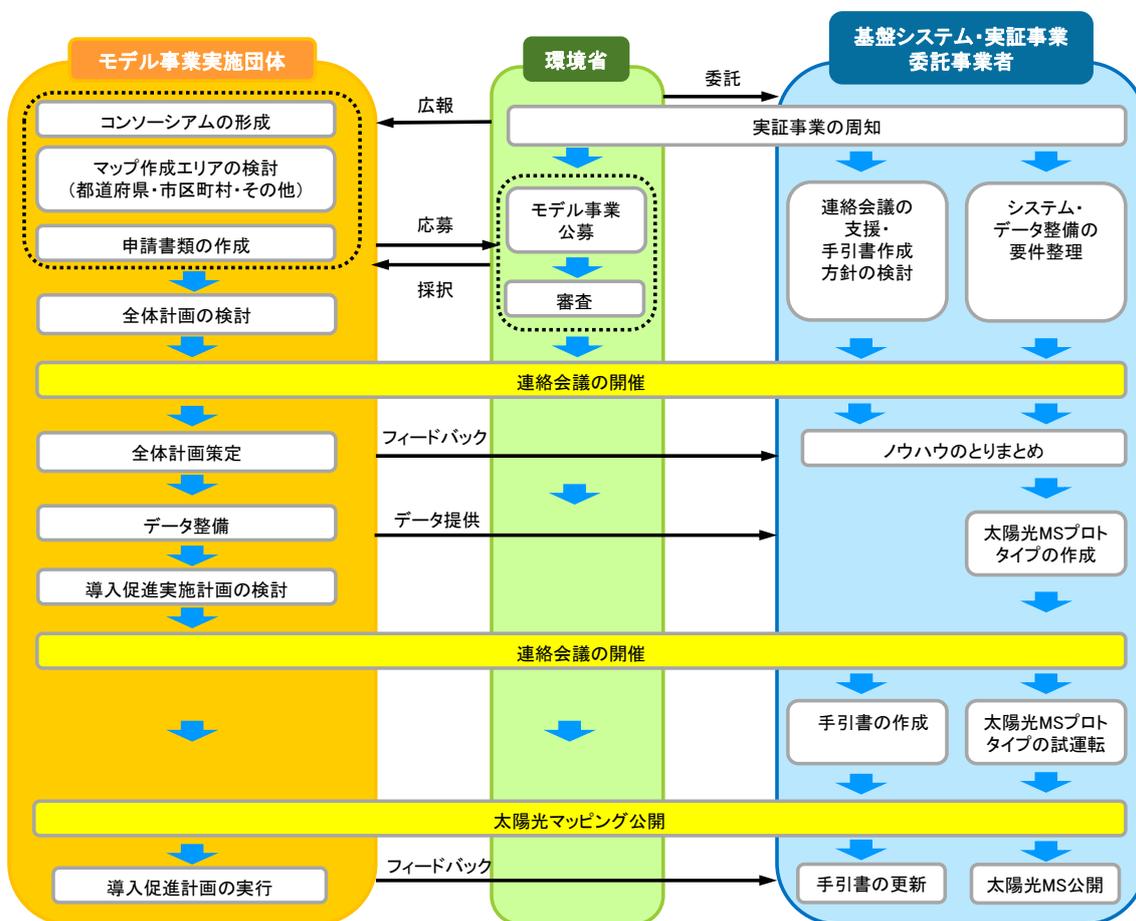


図 6.8-1 太陽光マッピングシステム構築に向けたロードマップ（例）